



写真提供 大覚寺

令和6年8月27日

中京区文化協議会

京都市中京区役所

（事務局：地域力推進室まちづくり推進担当）
TEL：075－812－2426



中京区文化協議会主催

文化財鑑賞会

～旧嵯峨御所大本山 大覚寺を探訪する～

参加者募集

中京区文化協議会は、中京の文化の更なる育成と振興をはかるため、昭和52年に設立されました。

本協議会では、例年、歴史や文化にまつわることをテーマに、文化財を訪問・鑑賞していただく「文化財鑑賞会」を開催しています。

今年度は「文化財鑑賞会～旧嵯峨御所大本山 大覚寺を探訪する～」を開催します。

1200年余りの歴史を持つ大覚寺を探訪し、人と歴史が紡いできた軌跡を肌で感じてみませんか。また、本鑑賞会では、大覚寺の案内による通常非公開の重要文化財正寝殿も特別に御見学いただけます。

- 1 日 時 令和6年10月21日（月）
午後2時～午後3時30分（受付：午後1時30分～）
- 2 見 学 先 大覚寺 〒616－8411 京都市右京区嵯峨大沢町4
（僧侶による案内付でお堂を見学。解散後、大沢池を各自自由見学。）
※大沢池御参拝の場合は参加費とは別に300円が必要です。
- 3 対 象 中京区に在住、通学又は通勤の方
- 4 定 員 40名（多数の場合は抽選）
- 5 参 加 費 1,000円（当日現金にてお支払いください。）

- 6 申込み 令和6年8月28日（水）から10月4日（金）までの間にFAX又はサイト内の申込フォームにてお申し込みください。

※FAXの場合は申込時に参加者の住所、郵便番号、氏名（ふりがな）、電話番号を御記入ください。

※当選者には10月11日（金）以降に、参加証の発送をもって通知します。

FAX 075-841-8182

申込フォームのサイトはこちら（右の二次元コードからもアクセスできます。）

（URL：<https://www.city.kyoto.lg.jp/nakagyo/page/0000279847.html>）



- 7 その他 見学エリアには段差がありますので御了承ください。

- 8 問合せ 中京区役所地域力推進室 まちづくり推進担当

（電話：075-812-2426 FAX：075-841-8182）

大覚寺について

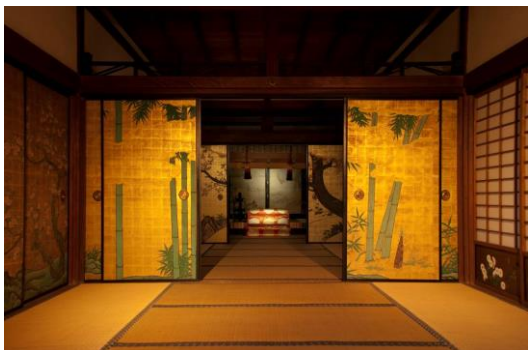
真言宗大覚寺派の本山である大覚寺は、正式には旧嵯峨御所大本山大覚寺と称し、嵯峨御所とも呼ばれます。平安初期、嵯峨天皇が檀林皇后と御成婚の新室として建立されたのが大覚寺の前身・離宮嵯峨院です。

嵯峨院が大覚寺となったのは、嵯峨天皇の皇孫である恒寂入道親王を開山として開創した貞観18年（876）で、令和8年には寺号勅許（開創）1150年を迎えます。

弘法大師空海の勧めにより嵯峨天皇が浄書された般若心経が勅封（60年に1度開封）として奉安され、心経写経の根本道場として知られています。また、明治時代初頭まで、代々天皇もしくは皇統の方が門跡（住職）を務めた格式高い門跡寺院で、いけばな発祥の花の寺でもあり、「いけばな嵯峨御流」の総司所（家元）でもあります。

時代劇・各種ドラマのロケ地としても有名です。

歴史上、実際に嵯峨天皇と弘法大師がこの地で親しく御高誼なされた弘法大師遺跡本山の一つです。



通常非公開 正寝殿 御冠の間



大沢池

写真提供 大覚寺